

療養病床における 降圧薬服用患者の血圧コントロール

- 分子

- 血圧の最終値が150/90mmHg未満の入院患者数

- 分母

- 入院で降圧薬を30日以上服用している入院患者数

- 除外

- 透析患者

計算手順

手順①

調査期間中に在院した患者を対象とする

手順②

対象患者ごとに「別表：降圧薬リスト」に該当する薬剤のいずれかが実施された入院期間中の日数を計算する

手順③

手順②の日数が30日以上で、透析を行っていない患者を分母対象とする

手順④

入院期間中に施行された血圧測定の見最終記載日とその値を求める

手順⑤

最終記載された収縮期血圧が150mmHg未満かつ拡張期血圧が90mmHg未満を満たす場合、分子対象とする。

手順⑥

入院期間中に血圧測定が一度も施行されていない場合には最終検査日、最終値とも空白とし、分母からは除外しない

注1 血圧最終記載日が初回処方日以前または処方日数が30日に達する前であっても入院期間中に血圧が記載されていれば分母・分子から除外しない

手順⑥

分母=手順③で求めた入院患者数、分子=手順⑤で求めた入院患者数とし指標値を計算する

手順①②③補足

手順①: 2016年6月が調査期間の場合、2016年6月に在院した患者が対象

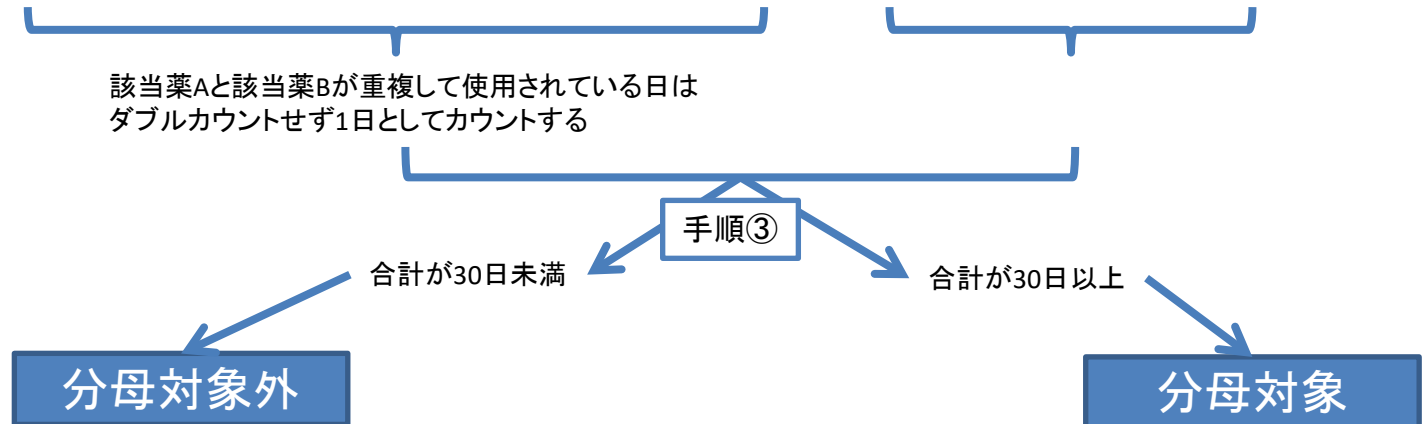
手順②

②-1: 2016年6月の退院患者の場合、その入院日から退院日までが調査対象

②-2: 2016年6月に入院中の患者の場合、その入院日から2016年6月末日までが調査対象

血糖降下薬	入院前	入院日						退院日または調査月末日
該当薬A	調査不要	←————→						
該当薬B	調査不要		←————→					
該当薬C	調査不要					←————→		
非該当薬1	調査不要	調査不要	調査不要	調査不要	調査不要	調査不要	調査不要	調査不要
非該当薬2	調査不要	調査不要	調査不要	調査不要	調査不要	調査不要	調査不要	調査不要

該当薬Aと該当薬Bが重複して使用されている日は
ダブルカウントせず1日としてカウントする




手順④⑤補足

手順③で分母対象となった患者

同日に複数回血圧記載がある場合にはその最終値を対象とする

	入院日	...	-5日	-4日	-3日	-2日	-1日	退院日または調査月末日
患者A	141/80	...	170/50	155/80	155/80	146/85	155/80	145/80
患者B	141/80	...	170/50	155/80	155/80	146/85	未記載/未記載	未記載/未記載
患者C	141/80	...	170/50	155/80	155/80	146/85	145/未記載	未記載/80
患者D	未記載/未記載	未記載/未記載	未記載/未記載	未記載/未記載	未記載/未記載	未記載/未記載	未記載/未記載	未記載/未記載
患者E	141/80	...	未記載/未記載	未記載/未記載	未記載/未記載	146/85	155/80	未記載/未記載

 = 血圧最終記載日

患者A:最終記載された血圧 145/80

患者B:最終記載された血圧 146/85

患者C:最終記載された血圧 未記載/80

患者D:最終記載された血圧 未記載

患者E:最終記載された血圧 155/80

よって分子対象

よって分子対象

よって分子対象外

よって分子対象外

よって分子対象外

reference

1. Psaty, B. M., Manolio, T. a, Smith, N. L., Heckbert, S. R., Gottdiener, J. S., Burke, G. L., et al. (2002). Time trends in high blood pressure control and the use of antihypertensive medications in older adults: the Cardiovascular Health Study. Archives of internal medicine, 162(20), 2325–32. PubMed PMID: 12418946.
2. 日本高血圧学会高血圧治療ガイドライン作成委員会編:高血圧治療ガイドライン2014. 日本高血圧学会, 2014.

変更履歴

変更日	内容
2021/05/19	reference追加。